

ノリ情報 (5号)

山口県水産研究センター内海研究部

平成16年11月18日

1 気象・海況

(1) 水温と降水量(秋穂湾)

水温は15日に下関で18.5℃、宇部18～19℃、防府18.5～19℃、秋穂18.4℃と平年より高めに推移しています。降水量は11月上旬が18.7mm(平年の104%)とやや多くなっています。

(2) 栄養塩

11月15日の調査では、DINが下関地区31.6～40.3ガンマ、藤曲浦地区20.4～59.2ガンマ、宇部地区では西漁場9.1～46.0ガンマ、東漁場5.6～24.6ガンマと引き続き非常に低い状態が続いていますが、前回調査より、防府地区は21.2～95.2ガンマと平年よりやや高い状態となっています。

PO4-Pは下関では4.0～4.9ガンマと平年に比べ非常に低い状態となっています。宇部地区では7.7～12.7ガンマと平年に比べやや低くなっています。防府地区では10.2～13.3ガンマと平年よりやや高い状態となっています。

2 養殖状況

王喜区では11月13日から小野田地区では11月10日から摘採が開始されました。両地区とも色調はやや薄い状態ですが、気象状況から回復基調の様相です。

また、小野田地区ではバリカン症の発生が確認されています。

藤曲浦、新宇部地区で11月16日、宇部岬地区では11月17日から本張り開始となりました。

防府地区では11月12日から本張りが開始されました。

3 注意事項

栄養塩の非常に低い状態が続いています。気象・海況を考慮した管理を行ってください。また、群体性のタラシオシラも多い状態が続いているので、ドタ(ヌタ)の発生も懸念されます。適切な管理を心がけましょう。

4 他県の状況

(岡山)16日から摘採開始(福岡・佐賀)あかぐされ病小康状態。(熊本)11日から摘採開始。あかぐされ病拡大傾向(大分)高水温・低比重からバリカン症が発生